

日刊
ア新東京

No. 9 3 5

2012年
8月1日(水)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

終戦・広島・長崎への原爆投下、福島核惨事から平和を考えよう

戦争と平和を考えよう

新東京支部はこの間、原発・
沖縄現地平和学習をおこなって
います。

さらに学んでいこうと支部組
合事務室に広島・長崎、終戦に
関連した資料や冊子がありま
す。それを紹介します。

・『撃沈された船員たちの記録』
土井全二郎（光人社NF文庫）
・『戦時船員たちの墓場』土井

全二郎（光人社NF文庫）

近代戦の基本となる輸送船団・
補給作業で戦場に向かい消えて
いった六万人の船員！悲惨！

・『ヒロシマは昔話か』庄野直
美（新潮文庫）原水爆の写真と
記録を描いています。

・『原子雲の下に生きて』永井
隆（アルバ文庫）今よみがえる
生々しい被爆体験の手記。

・『ヒロシマ・ナガサキ二重被
爆』山口彊（朝日文庫）女優の
吉永小百合さんが「山口さんの
悲しみと命の重さを受けとめて
ほしい」と訴えています。

・『原爆の図』（丸木美術館）こ
こに描かれている現実には直視し
考えざるを得ないものです。
この本は必読です。

その他に、いまだに終息のメ
ドもたっていない史上最大の核
惨事である福島原発事故関連の
出版された本も多数あります。

ぜひ組合事務室に立ち寄って
手にして、太平洋戦争、広島・
長崎、福島核惨事とおして今
の平和を一緒に考えましょう。

ちょっと映画DVDでも

『魚が出てきた日』

(1967 英・ギリシャ)

エーゲ海に浮かぶ離島で、人々が熱く激しく踊りまくるシーンから始まり、コミカルに描かれていますが、内容はまるで違います。かなり深刻な話です。

ギリシャの海上で水爆を載せた軍用機が墜落します。パイロットたちは核の入った箱をパラシュートで落すが、3つのうち1つが島の上に落ちてしまう。その箱を羊飼いが拾い、自宅に持ち帰り密封された金属ケースをこじ開けようとする。それが“パンドラの箱”だとも知らず……。

軍は秘密裏に事態を收拾しようと、係官を観光客に装わせて島に上陸させる。そして、島の殆どをホテル用地として買収する。

ところが、そのことが島の観光地化に拍車をかけ、ギリシャ本土から観光客が押しかけるようになってしまう。

さらに、道路整備工事で彫像が発見され、考古学者たちも押しかける事態になる。(その中に、デビュー仕立ての若きキャンデイス・バーゲンがいます)

一方、飛行機から脱出した2人のパイロットは、島中を駆け回り、自分たちでなんとかしようと悪戦苦闘する。だけど、その悪戦苦闘をあざ笑うように、羊飼いは……。

浮かれる町に「アテンション・プリーズ」という拡声器の音が響き渡り、川や海から大量の死んだ魚がどんどん浮き出てくるところで映画は終わりますが……

..

NHKテレビが特集で福島原発の影響で東京湾汚染が10年以上続くという報道をしていました。今の現実とオーバーラップする恐ろしさがあります。一見の価値あります。



スペイン沖で核兵器を積載した米軍機が行方不明になったという実際に起きた事件が元になっているらしいです。(投稿)

日刊
新東京

No. 9 3 6

2012年
8月2日(木)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

退職者中部協議会総会の報告

いつまでも健康で……平和を求めて

七月二八日(土曜日)、神田局六階大会議室で退職者協議会総会が八〇余名の参加でおこなわれました。

はじめにこの一年間に亡くなった三〇名の黙祷をおこないました。そして議長に大塚優子さん(中郵)を選出しました。

続いて中部協議会畑中会

長、来賓の各地区協議会会長の挨拶がありました。

奥村さん(全国会長)、山本さん、来田さん(東部)、松下さん(南部)、根本さん(西北)、熊沢さん(多摩)、J P 東京地本の内村さんと続きました。

語られたおもな内容

・ 会員全員に声をかけて総会おこなっているのは中部協議会だけです。

・ 年金・医療・福祉は政治の混乱で進んでいないが今後も訴えていく。特に後期高齢者制度は差別的だ。

・ 今、中部協議会は八七〇名(全国で五万人)の会員がいるが会員を増やしていないと毎年亡くなる人が多い。

・ 退職協議会の統合は元全郵政系「PUC退職の会」と4年間話しあってきた。歴史的経過があるが、譲るものは譲ってきたが意見が合わない。

提起された運動方針

・人と人、仲間とのつながりを条件にして集まっている。あいつがいるから入ろうというのが基本。知っている人がいたら声をかけていこう。

・年金・医療・福祉など粘り強く要求していく。

・沖縄の実態、自衛力の解釈など無視できない危険な状態がある。平和の取り組みは老後の基軸です。長崎・広島、東京大空襲平和集会など各種平和を求める運動に参加していきます。地域の運動も大事です。

・脱原発の運動を強めます。

・健康が第一。年齢的にも体力的にもできることは限られているが元気に明るくやっけていきたい。

……等々。

その後再雇用委員会費を年間1600円に決めたこと、病気等での幹事変更が提起され、すべての提案は全員で了承されました。そして力強い団結ガンバロ―で終了しました。

ほぼ全員で神田駅付近の懇親会会場に向かいました。もちろん懇親会の方が大いに盛り上がったのは想定通りでした……。(投稿)

お知らせ

新東京支部

第5回定期支部大会

2012年8月5日(日曜日)

ホテル・ラングウッド(日暮里)にて

日 刊
新東京

No. 938

2012年
8月6日(月)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

新東京支部 野球部

活動報告くチーム名は、新東京く

5月と6月に予定していた、「中央連協野球大会」は雨の為中止となりまして、協議の結果、日本橋と我が新東京が9月に行われる『東京地方大会』に出場することが決まりました！

日本橋と話し合い、「中央連協No.1」を決める試合を7月5日(木)に夢の島野球場で行いました。

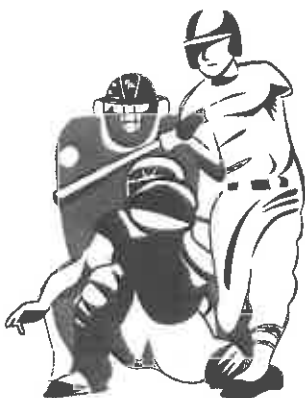
新東京支部野球部結成後、初試合ということでも、みんな緊張の面もちです。タートしましたが、何と！

新東京が先制点……！

しかし、ベテランが目立つ日本橋のコツコツ当たってくる攻撃を受け、あつという間に1-8に……。

松木さん(二特)の2点ホームランで追い上げるも、3-9で惜敗しました。

試合終了後の懇親会では、チーム名を決めることになり色々案は出ましたが、シンプルに「新東京」にしようかと満場一致で決まりました。



多少のケガ人が出てしまいましたが、これから楽しく活動していきたいと思います。

まだまだ部員を募集していますので、興味がある方は参加してください！

『東京地方大会』は、9月1日(土)に行われます。(場所は未定)たくさんの応援、お待ちしております。

キャプテン

石井

	1	2	3	4	5	6
新東京	1	0	0	0	2	0
日本橋	2	0	4	2	1	×


★練習日のお知らせ★

2012年8月22日(水)

10:00~3時間程度

場所:夢の島野球場



日 刊  新東京	No.940	2012年8月8日(水)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
	TEL 03-5606-6784 内線 4353	

JP 日本郵政グループ労働組合

一普初、把束エリアから月給制登用者合格

おめでとう！

この度の月給制登用試験は、支店内数名登用という非常に厳しい難関であったにもかかわらず、**JP** 労組組合員が多数を占め、普段の日々の業務に対する並々ならぬ努力の賜物と **JP** 労組支部組合員一同、心よりお喜び申し上げます。

難関だけに合格された方々のそれを支えたご家族を始め、周囲の方々の心労を察すると、頭の下がる思いではありますが、次のステップへ向けて更なる飛躍を遂げ、その才と力量を思う存分発揮すべき地位に就かれ、郵便事業（日本郵便）及び **JP** 労組の発展は期してみるべきものありと確信いたしております。

今回、月給制登用者の中でも、特筆すべきは、第一普通郵便課（以下、一普）の把束エリアから登用者が輩出されたという点であり、長年、一普バラエリアからは正社員及び月給制の登用はあったものの、一普把束エリアからは皆無であった。今回、一普初の把束エリアからの月給制登用を発端とし、次のステップ及び後続への門戸開放の一助となるべく、今後とも引き続き組合活動に邁進していく所存である。

今回、一普より見事に難関を突破した佐々木良哉くんより感想及び抱負を頂き、裏面にて掲載をしているので、ぜひ参照して頂きたい。

6月の月給制登用試験で、晴れて合格することができました第一普通郵便課・把束の佐々木と申します。

これもひとえに JP 労組組合員の先輩方の様々なアドバイスのおかげです。ありがとうございました。

第一普通郵便課・把束エリアからの初の月給制契約社員ということで、もちろんとても嬉しくもあるのですが、ここがゴールではなく、次のステップへ向かって、まずは日々の仕事に、より一層精進していきたいと思えます。

そして、この先、自分も含めて、新東京支店から一人でも多くの方々が正社員になれるように、私たち、期間雇用社員（時給制契約社員・月給制契約社員）一同、共助共演、力を合わせて頑張っていきたいと思えますので、この先もどうぞ先輩方のご指導の方、よろしくお願い致します。

第一普通郵便課・把束 10 深 A 佐々木 良哉

絆



心
ひとつに
JP 日本郵政グループ労働組合

日 刊

新東京

NO 942

2012年
8月10日(金)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

年間執行方針策定 (本部)

中央本部は、第5回定期全国大会で決定された運動方針をふまえ「年間執行方針」を策定しました。今後、この方針にもとづき、今年度の運動がスタートします。

「年間執行方針」抜粋

(1) 重要課題の取り組み

① 「新たな郵政づくり労使協議会」への対応

労使協議会での意見反映と検討状況等の情報周知とともに、労使協議では、「郵政改革に関する意見・提言(その1)」を基本に対応をはかる。

② 会社統合に伴う具体的準備

作業等への対応

円滑な会社統合に向け、労使協議とともに、具体的準備作業等の検証・進捗管理等に万全を期し、また、統合2社の労働条件等の差異は、組合員の不利益とならないことを前提に、統合日段階で調整するもの、別途調整するもの、に分類したうえで整理をはかる。

③ 春闘態勢の再整理

2012春闘は、方針決定プロセスを見直したが、要求提出から妥結に至る取り組みを共有できなかった等、課題が残ったことから、機関運営・春闘態勢を再整理する。

④ 特別手当への対応

2013春闘とは切り離し、1月下旬から交渉にあたる。

(2) 労働政策局

① 郵便事業会社への対応

郵便再生に向けて、「郵便再生に向けた特別労使協議会」等において、引き続き対応を強化し、大口営業へのチェック機能の強化、営業関係施策への職場実態をふまえた対応、正常な業務運行確保等について対応をはかる。

② 人事・給与制度の改革および労働力政策の構築

③ 新たな人事・給与制度
第三次要求書の今後の対応に

ついで、8月上旬頃には中間回答と退職手当のシミュレーション等を明らかにさせ、職場意見の集約を開始し、第10回中央委員会で一定の到達点および、その後の方向性を確認したうえで、第4次要求書を提出し、交渉を展開する。

◎労働力政策の構築

ア、業務量に応じた労働力配置基準等の考え方を示させ、職場実態等および必要な役割の配置基準の議論を深めるとともに、各社の財務状況をふまえた持続可能な労働力政策とすることも求められる。

イ、人事・給与制度の構築と密接不可分の課題であることから並行した議論を行い、第10回中央委員会後に職場意見等をふまえた要求書を提出し交渉を展開する。

国連の二重基準

4月19日、インドは長距離弾道ミサイル「アグニ5」の発射実験を行った。続いて25日にはパキスタンが中距離弾道ミサイルの発射実験に成功したと発表した。

印パ両国は1998年5月に相次いで核実験を行った。国連安保理は満場一致で決議1172号を採択、両国に核不拡散体制の礎としてのNPTに遅滞なく、無条件に加入することを求めると同時に「核開発計画の中止」と「核兵器運搬可能な弾道ミサイルの開発を止める」よう決議した。ミサイルの発射実験は両国ともに国連決議違反である。一方、同じ月の北朝鮮のミサイル発射に対しては、国連安保理は議長声明で非難した。イ



ランの核開発にも違う対応を見せている。

米国はインドとの原子力協力協定により使用済み核燃料を販売、核技術を移転し、カナダはウランを輸出している。決議1172は国連の全加盟国に「印パの核兵器計画に資する設備・物質・関連技術の輸出を禁止」している。

日 刊
JP新東京

No. 943

2012年
8月13日(月)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

第5回定期支部大会開催

「心ひとつに」を活動のキーワードに事業の発展に向けて「新たな郵政づくり」に取り組もう

8月5日、午前10時より日暮里の「ホテルラングウッド」にて、JP労組新東京支部第5回定期支部大会が開催されました。

この1年間に振り返り、執行部と大会代議員の活発な討論で議論を深め、支部運動方針の強化をしてみました。大会議長に第3ゆうパック分会の中村議員を選出し、一生懸命采配をふる

って頂きました。来賓には、東京地本から内村執行委員、中野執行委員、小林執行委員、及川執行委員に出席頂き、代表して内村執行委員から挨拶を頂きました。また、ポストライフから秋山東京地方部長にも出席頂き、挨拶をして頂きました。

下山支部長挨拶

今日は私自身の思いを込めて

挨拶したいと思えます。

10月1日に新会社「日本郵便株式会社」が発足します。円滑な会社統合に向け、本部・地本とともに具体的な準備作業などの検証に万全を期すところでもあります。

さて、6月に開催された全国大会の時点で東京地本の組合員数は、31、072名となり、東京地本としての目標は達成することができました。しかし、新東京支部の組織拡大は58名にとどまり、当初の目標である100名には届きませんでした。この点については反省しつつも、今年度は新東京支部が東京を牽引していけるように頑張りたいと思います。

ところで、毎月1回、会社の経営状況を把握できる「支店別

「損益」が示されるようになりました。新東京支店の平成24年5月期の利益率は29.4%と、とても高い数字でした。ゆうパックについては多少の減少が見られましたが、ゆうメールとレターパックについては順調に数を増やしているということです。

今年、支部独自の活動として、那覇中郵支部の全面的な協力で沖繩平和学習会を開催しました（参加者には個人負担を課しました）。現在のオスプレイの配備問題をはじめ、様々な課題が沖繩にはあります。日本で最も大きな単一労組が、果たして何もしないでいいのかという思いを持ちました。社会貢献活動の中で、自らが発していく大切さがあると思います。連合・JP労組共にそういった点の感受

性の低さ、平和に対する思いが少し欠如しているように思います。

最後になりますが、本日は限られた時間ではありますが、活発な議論ができれば幸いに思います。

内村執行委員挨拶

このたび「さだみつ克之」が、民主党の公認を受け、来年の参議院選挙に出馬することが決まりました。消費税の問題や原発再稼働の問題など、「民主党は何をしているのか」という世論の中で、大変な逆風の中での選挙だということを感じています。しかし、民主党がいかにか悪いとかいう問題ではなく、国会に送り出すためには民主党からしかできないことも事実です。郵政民営化見直し法案の成立に向

けて、民主党の議員一人ひとりレクチャーしてきました。安心して定年まで働いていける職場を目指すためにも、政治の力がとても重要です。

秋山地方部長挨拶

今日が最後のあいさつです。「共済を伝えよう」を基本姿勢として活動してきました。皆様にはその思いを理解していただき現在の加入件数となりました。郵政の仕事42年間の中で、2年間が新東京の在籍でした。名実ともに東京全体を支えるのは他ならぬ新東京です。

皆様、本当にお世話になりました。

（明日の日刊は、質疑応答の内容を紹介します。15日より17日まで休刊いたします。）

「心ひとつに」を運動のキーワードに 第5回定期支部大会 「新たな郵政づくり」運動を論議

2012年8月5日、日暮里「ホテルラングウッド」において、J.P.労組新東京支部第5回定期支部大会が開催されました。

この一年間の活動を振り返り、大会代議員13名が発言、活発な議論となりました。支部運動方針の強化を確認し、密度の濃い大会となりました。各代議員による質問は、編集委員会できちんとめ、簡略化してあります。詳しい内容は、支部・分会組合役員にお尋ねください。

質問

◎2特分会 沖縄平和学習に参加した。「平和の礎」に沖縄戦戦死者24

万人以上もの名前が刻まれ、長い年月が流れている今もなお、その数は増え続けているという現状に驚いた。戦争のことを遠い昔のことと安易に考えていたが、単なる過去という位置づけにしたままではいけないと感じた。今回

のような考え及び思索に基づく諸活動は、組合という組織にとつて、大変良い取り組みだと思う。継続して今回のような組合活動で視野を広め、更に広げていってほしいと思う。

新たな人事・給与制度に関しては、現段階で確定されている部分ばかりづらく、組合員に質問をされても、回答ができない。支部として、学習会及び研修会などを催し、私たちに情報提

供を兼ねた機会を設けてほしい。
窓口交渉などに関しては、「組合が、何をやっているのかわかりづらい」という声がある。交渉・要求・回答などの情報を機関紙等を利用して、より多くの人々へ伝えてほしい。

1・2特すべての速達を、1特の処理場で作業するといううわさがある。会社は現場の声を聞かずに施行しようとする目論みているのだろうか。アマゾンゆうメール導入時におこなった職場周知と実際の業務が大きくかけ離れているにもかかわらず、会社・支店からなにも説明がないままである。

休憩・休憩室、またロッカールームの気温は高く、業務上、また健康上に支障が出ないよう、冷房を効くように交渉してほしい。

◎1特分会 この1年間、誰でも気軽に組合の企画やレクに参加できるよう取り組んできた。去年の12月に忘年会を催し、また今年8月26日にはピアガーデンレクを開催する予定です。今まで組合活動に関わっていない方も参加できるように企画してきたことに、10名の方に加入して頂いた。組織拡大につながる事ができた。メーデーなど各種動員にも積極的に取り組み、「3・10忘れてはならない東

京大空襲」平和集会の千羽鶴作りに、女性組合員の多大なる協力があつたため、速やかに完成した。女性組合員の憩いの場として、ガールズルームは好評だったので、ぜひ今年度も企画してほしい。J.P.労組組合説明会をぜひまたやってもらいたい。広く、より多くの方々に、労働組合の意味と必要性、そして諸活動の参加や日々の業務への捉え方などを知ってもらいたい。

沖縄平和学習に参加してみて、戦争の悲惨さを学びました。沖縄那覇中郵支部の組合員を、東京大空襲平和集会に招待し、参加して頂くことによりお互いの平和意識が高められ、相互関係の推進に大変良い効果があると思う。

◎1普分会 今年8月の月給制契約社員登用において、把東エリアから初合格者が出たことに感謝申し上げます。更なる登用の推進や、支部が組合員に行っている、正社員登用1次試験対策2次試験対策・模擬面接演習は、引き続きよろしく願います。分会機能強化の具体的な取り組みとはなにか教えてほしい。
心ひとつに運動はコラム以外では、何をやっていくのか教えてほしい。義援金の使い方が、あまり周知されていないので、額面を合わせ、具体的に周

知してほしい。尖閣や北方領土問題は、どのように扱うのか。脱原発論を、賛成意見も取り入れながら脱原発の方論を見出していこう。

3・10忘れてはならない東京大空襲平和集会を退協と協力実施していきましよう。

◎2普分会 今年10月より、ゆうメイトの勤務が大幅に変更される。「事業再生には、労使が協力して」といつているにも関わらず、会社・支店サイドからの一方的なやり方は、おかしい！ 昨年、12勤を廃止して、今回は7深を廃止し、10深週4回のみと言われている。昼間は日中夜すべての勤務の指定となる。更には、辞める人(自発的退職者)を見込んで、新たに募集までしている。公正な良識ある勤務変更を求めてほしい。

業務要員政策が、不合理・めっちゃくちゃであり、しかるべき考察をしているとは到底思えない。交渉をし、会社・支店側に適正な要員政策を求めてほしい。

◎3パック分会 分会会議を2ヶ月に一度開催し、業務の問題点を集約している。オーバーナイトがなくなったが昼の当日配達で、日々、業務が圧迫さ

れ続けている。課代さんの業務量過多により、休憩さえもできない状況である。適正な業務要員政策を求めてほしい。

期間雇用社員は、全体の約8割程いるが、5年、10年以上働いている方々が大多数いる。正社員とともに日々、業務の結束を守っている。正規と非正規との業務量の格差と対価の格差とのバランスがとれていない。恒常的に契約を繰り返す非正規社員の中には、1000円の組合費が払えないという人もいるのが現状である。

赤鉄パレット問題を地本大会で発言してもらえてよかった。なぜ改善されないのか、不信感がつる。死人が出てからでは遅いのではないか。最悪の状態になるまで赤鉄を使い続けるのか。経費削減は限度にも程がある。会社側は、現場で働いている人の声にもつと耳を傾けてほしい。

スキル評価は対話時間を持つて厳正に行つてほしい。

◎窓口分会 スキルチェック評価を、現場で一緒に働いていない人が担当している。評価の厳正性に欠く。

大口業者が朝に板パレットを持ち込むが、お金は夕方。作業場が半日倉庫代わりになり現場が狭くなる。安全面

への懸念性は否めず、非常に危険！支店レベルで早急に打開策を願いたい。

◎1特分会 無期限試行実施中の集中処理は、長期間にわたり、ずっと伝3結束は出来ていない。試行をやめるか、結束可能するならば適正な要員を入れなければならぬ。対応を求めぬ。

営業成績において、個人別に名前を掲示している事自体が、コンプライアンス違反である。

みらい研は、具体的にどのように取り組んでいくのか教えてほしい。

◎2特分会 期間雇用社員から正社員に登用されました。多くの人が、JP労組の支援に感謝しています。しかし、登用の基準や方法が、毎回変わるの、戸惑いもある。正社員・月給制登用の拡大と登用のためのアドバイス支援を継続してほしい。深夜勤務導入されて8年が経った。健康面に不安を感じている。休息時間の拡大、深夜勤にかかる手当等の増額、労働時間短縮等求める。労働条件の改善は労組の責務。

7・16代々木公園脱原発集会に有志で参加した。17万人も集まり問題の広がりを感じた。支部としても原発学習会や放射能学習会などを継続してほしい。平和で安心して暮らせる社会

を作つていくために頑張りましよう。福利厚生がおろそかになっている。休息室のテレビは半分の部屋しかない。台風や地震など情報源としてテレビは必要不可欠。

現場で翌朝10時が廃止になるとうわさになっている。情報はあるのか。

◎1輸分会 1輸差立は自由年休ダメだといわれ、受理されない。今年度差立では11月3日、12月4日、3月6日の3日間しか自由年休がとれない。そのため来年度は計画年休が激増し、要員が配置できない。65才以上の再雇用はできないのか。

企画政策会議で、どの項目が解決し、どの項目が継続中なのかわかりづらい。全国大会前に全組合員対象で、支部オルグをやつてもらいたい。

今夏も節電と称して冷房が効いておらず、会社・支店側へ報告が上がっているのか分からないが、何人も具合が悪くなつている。どうにかしてほしい。有人車の走行ルールは実態にあつておらず、安全性に欠く。

旧1輸送課・旧2輸送課の交流とスキル評価の関係があるのか。やっていない分担当はスキルなしになるとうわさになっている。おかしいのではないか。

(答弁は省略します)

日 刊

新東京

No.945

2012年
8月20日(月)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

第5回定期支部大会を終えて(企画・教育部)

安心・安全な社会創造を目指した行動に向けて…

「福祉型労働運動」の本格的な展開へ

昨年度一年間、企画・教育部では3つの基本方針を基に行動してきました。

一つとして、組合の役員として中核を担う活動家の育成と、組合員全員の組合に対する意識と理解を深め高めること。また、社会の様々な事柄に対して学習会等を通じて知識の向上を図ること、さらには運動の中心となる分会の機能をしつかりとしたものにする事。

二つとして、社会を組織する

一員として社会貢献活動や国際貢献活動に積極的に参加し、地域社会や国際社会との関係の強化に向けた取り組みに力をいれること。

最後に、昨年発生した東北を中心とした大災害の発生を受けて、労働組合だから出来る様々な助け合い・共助の行動を実践し続けること、併せて、安心・安全に暮らしていける社会の構築に向けて、私たちが今、すべきことを考え、行動していくこと…でした。

一年を経過し、未だ不十分なながらも方針に則って活動できたと考えます。これも一重に組合員の皆様のご理解とご協力が合ったからと心から感謝申し上げます。今年度も基本的な考え方は踏襲しつつ、組合員一人ひとりの生活、そして安心・安全に暮らせる社会を第一に考え行動していくこととします。

さて、東京地本より、支部大会でも概要を提起させて頂きました「心ひとつに運動の展開」及び「福祉型労働運動の実施」について要請がきました。前記は、東京地本がサポート支部である福島県相双支部エリアへのボランティア派遣要請で、後記は、福祉型労働運動の本格的な展開に向けて、推進担当者及び推進担当補助者の任命です。どちらも報告日が9月14日(金)と切迫していますので、裏面にて募集・周知させて頂きます。

「心ひとつに運動」

相双支部及び相双支部エリアへのボランティア団派遣について

1. 基本的な考え方…「相双支部のニーズに対応する」「相双支部が負担にならない」という基本原則を遵守して取り組む。
2. 実施時期…【第2次】2012/10/12(金)～2012/10/14(日)
【第3次】2012/10/26(金)～2012/10/28(日)
※金曜前泊、作業は土日。地元ボランティアセンターの一員として活動。
3. 募集人員…2次・3次共に東京地本全組合員を対象に各3名。
4. 派遣の考え方
作業ボランティアについては、①相双支部組合員宅の作業最優先。②相双支部エリアの復旧が相双支部組合員の為になる一などの考え方を基軸に活動。
5. 主な作業内容
①震災の被害による家の中、家の周りの片付け。
②専門技術を要する作業、行政で禁止している事項(ゴミや瓦礫の運搬)は活動内容に含まない。
③水道が復旧していない地域では、水を使用した作業はしない。(泥だし等)
※雨の日の作業について、ボランティアセンターの方針で屋外活動は中止。

「福祉型労働運動」

推進担当補助者の募集について

1. 福祉型労働運動推進補助者の選出
推進担当者については支部執行委員から選出することになりますが、補助者については制約がありません。支部としては、各分会1名の選出を要請します。行動力のある方、または、地域ボランティアに興味ある方は進んでご意見いただきたいと考えます。また、分会3役が兼任しない場合は、福祉型労働運動推進補助者と企画・教育専門幹事として活動して頂きます。
2. 選出〆切り…2012/9/12(水)
3. 福祉型労働運動とは…

福祉型労働運動の3つの理念

- ① 働く人の「仕事・暮らし・地域」をサポート
- ② 誰もが安全・安心に暮らせる社会の創造
- ③ 郵政事業の成長と発展を目指す

3つの理念を具現化する運動であり、組合員の豊かな未来を切り拓く“新たな絆&ふれあい社会の創造”が目的です。

4. 支部の取り組み…昨年まで実施してきた「江東区まちをきれいにする運動」への参加は継続します。さらに、地域に密着した新たな行動の実践も視野に入れて企画・実践を目指します。また、昨年度実施してきた原発等各種学習会及び平和行動についても議論し、企画・実践していきます。

※ なお、詳細は支部または分会役員にお問い合わせ下さい。

日 刊	JP新東京	No.946	2012年8月21日(火)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784 内線 4353	

第5回定期支部大会 大会宣言

8月5日に開催した定期支部大会の大会宣言を載せます。
皆さん、「心ひとつに」取り組みましょう。

大会宣言

ここホテルラングウッドで開催したJP労組新東京支部第5回定期支部大会は、活動のキーワードを「心ひとつに」とし、力強い組織の構築、仲間のきずなを拡げる組織拡大、郵便事業再生に向けた取り組み、みらい研の加入拡大、「心ひとつに運動」の継続展開など、当面する諸課題への対応方針を確認した。

また、最重要課題である第23回参議院議員選挙における「さだみつ克之」氏必勝に向けて、万全の態勢で臨んでいくことも全体で確認した。

組織の総力を挙げて成立に向けて取り組んできた「郵政改革法案」は、衆参ねじれの政治状況の中、難波参議院議員や東京選出の山花衆議院議員をはじめとした組織内議員の奮闘はもとより、関係議員との連携や関係団体等の共同行動、さらにはJP労組の組織力を結集した取り組みにより、4月27日に成立させることができた。

これはまだ、私たちが働きやすい、また真にお客様のためになる郵便事業づくりの第一歩であり、引き続き「新たな郵政づくり」に取り組んでいくことが重要である。

そのためには、職場での諸問題を解決できるように労使協議を充実させるとともに、政治的影響力をさらに高めていかなければならない。

東京が受け入れ地本となった第5回定期全国大会は、組織数31,000人で全国の仲間を迎え入れることはできたが、JP労組新東京支部としては貢献したとは言えない状況である。

この状況を真摯に受け止め、「真に組合員の幸せ」の実現に向け、支部活動の充実、分会活動の活性化を更に進め、東京地本32,000人組織達成

に向けた牽引役となるように組織拡大行動に邁進していく。

来年の夏までには、私たちの事業に、また生活に密接に関係する大きな選挙が3つ予定されている。

都議会議員選挙では、中野区「吉田康一郎」、北多摩3区「尾崎大介」、遅くとも来夏までには実施される衆議院議員選挙での東京22区「山花郁夫」の各組織内議員と推薦議員の完全勝利はもとより、第23回参議院議員選挙でJ P 労組が擁立する「さだみつ克之」氏の勝利に向けて、J P 労組新東京支部は組織の総力を挙げて積極果敢につき進もう。

以上、ここに宣言する。

2012年8月5日
日本郵政グループ労働組合新東京支部
第5回定期支部大会

～女性フォーラム結成式を開催しました～



(初めて披露された旗の前で記念撮影)

8月5日に開催された支部大会の終了後、同じホテルラングウッドにて新東京支部女性フォーラム結成式を開催しました。東京地本の宇井執行委員から「女性フォーラムの位置づけは、支部の補助機関ですが、女性組合員にとっては最も身近な組織になります。女性の目線だからこそ浮き彫りにされる職場の問題点など多々あると思います。新東京支部の女性組合員の皆様が東京全体を牽引していくことを願っております。」とあいさつを頂きました。

定期支部大会を無事に終えて 「平和・安全・生命」を志す8月

8月5日に第5回定期支部大会を無事に終えた。たくさんの方から支部方針を豊富化し強化するための意見をいただき、よりいっそう支部運動が前進していくための方針を確立してきた。

支部大会で新執行部体制を確立し、支部の新年度としての運動を進めるにあたって、①働く仲間の結集と組合運動の基礎としての組織拡大

活動のさらなる展開、②第三次要求の回答が出て、今後論議が進められる「新たな人事・給与制度」に関する情報の共有化、組合員周知の徹底・意見集約と意思統一、③組織内部では議論しきれない課題はあります。が「平和・安全・生命」への取り組み。支部として、福祉型労働運動の論議と平行して、自主的にできることを追い求め、次代を担う組合役員

の教育、④最重要課題の政治的課題。参院選、衆院選、都議選で闘われる組織内候補者必勝の取り組み強化などを決定してきました。

この8月は8月6日広島原爆投下、8月9日長崎原爆投下、8月12日日機墜落、8月15日終戦…と一瞬にして多くのひとが亡くなった日が続きます。平和と安全、そして生命について考え、これらの日を祈りの日とするだけでなく二度とくり返してはいけない。風化させることなくしっかりと歴史を学ばなければならぬものとして、新東京支部で学習し、語り継ぐことを強化していかなくてはならないと思います。過去を知ることが未来の進む道を明るく照らすことになると思います。語り継ぐ重要性をあらためて感じました。

連帯メッセージ

心ある多くの市民・勤労者の反対の声をよそに、沖縄県にある「世界一危険」な米海兵隊普天間基地へ、新型輸送ヘリMV 22 オスプレイ配備を着々と進めている日米両政府に対して、怒りが禁じ得ません。

沖縄が本土復帰40年を迎えても、尚、米軍基地の74%が沖縄に存在し、沖縄への差別は私たちにとっても見過ごすことができないものです。

オスプレイ配備計画の撤回と日米地位協定の見直しはゆずることはできません。

沖縄県民の怒りの集会の大成功を東京の地より願ってやみません。平和で安心して暮らせる社会を創っていくために、連帯してがんばりましょう。

本日開催した第5回定期支部大会の総意により本メッセージとします。

2012年8月5日

JP労組新東京支部
第5回定期支部大会

↑支部大会で連帯メッセージを決議しました。「オスプレイ反対！沖縄県民大会へ」集会は、9月9日に宜野湾市の宜野湾海浜公園で開催されます。

総合共済に入ろう 加入募集中

共済の基本中の基本、助け合いの原点「総合共済」にまだ加入していない人は、今すぐ加入しよう。

日本全国の働く仲間が掛金を出し合って、結婚、出産、小学校入学祝いなどのお祝い事も、住宅災害や死亡などの不幸なことも、幅広く支払う総合共済…。慶弔見舞金制度です。

掛金は毎月750円で安心・安全に働き暮らしていくことのできる共済です。未加入の方は要検討ですよ！

詳しくは組合役員まで…

支部活動の充実・活性化へ

早川昌志君(業止)・高橋正太君(パック) 高橋克佳君(ニパック)、二名の執行委員を 第五回定期支部大会で補充選出しました。

先に開催した第五回定期支部大会では、支部役員その他支店への転出に伴う欠員二名を補充する役員選挙が実施されました。

また、活動方針(案)・予算(案)ともに一票投票を行いました。投票結果は、下記の通りです。

来年は、七月の参議院選挙にお

ける組織内候補『さだみつ克之』氏の当選を期すために定期全国大会は八月末に、支部定期大会は九月末頃の開催を予定しています。大会で論議し、決定した方針に基づいて今後一年間、各種取り組みを進めていきます。

一票投票の結果

一票投票の種類	有効投票数	賛成	反対	無効	棄権
第1号議案 2012年度活動方針(案)	54	53	1	0	0
第2号議案 2012年度予算(案)	54	53	1	0	0

支部役員補充選挙の結果

氏名(年齢/所属分会)	有効投票数	信任	不信任	無効	棄権
早川 昌志(30歳/共通)	54	51	1	2	0
高橋 正太(35歳/第1・第2ゆうパック)	54	51	1	2	0
高橋 克佳(39歳/第3ゆうパック)	54	51	1	2	0

JP労組 1 輸送分会夏レク ジンギスカンビアガーデン のお知らせ

8月25日（土）18時45分～
場所. 銀座松坂屋屋上

暑い暑い夏を乗り切るためにビアガーデンで乾杯

JP労組 1 特分会夏レク ニュート-キョ-ビアガーデン のお知らせ

8月26日（日）18時45分～
場所. 数寄屋橋本店屋上

暑い暑い暑い夏を乗り切るためにビアガーデンで夜風を

ビアガーデンの詳細は各分会幹事へ

医療共済 マイガードに入ろう 加入随時募集中

割安な掛金の医療共済です。補償額が入院1日、3千円、5千円、1万円から選べます。医療に関する保険に加入していない人はまず入っていた方がよい共済です。入院、手術や骨折、1日入院なども対象となります。病気が発見されてからでは加入できませんので、検査を受ける前に加入しておきましょう。深夜勤での疲労の蓄積は思わぬ病気を引き起こします。ぜひとも検討を…。
詳しくは組合役員まで…

2012年8月6日

第5回定期全国大会決定 要求書を提出

日本郵政グループ労働組合は、6月に開催した第5回定期全国大会をはじめ、各地方定期大会等の議論や組合員の意見集約を踏まえて、要求書を提出しました。

【共通課題】

① 人事評価結果が2年連続して一定水準に達しない社員に対するパワーアップ研修が、社員育成の視点に立った実施となっていない状況も見受けられることから、実施時期および研修内容について、社員育成の視点に立った実施となるよう見直しをはかること。

- ② パワーハラスメントのない職場環境に向けて、厚生労働省の取りまとめた予防・解決に向け対策を講じること。
- ③ マイカー通勤の支給条件の緩和や、電車通勤の特急料金支給条件の緩和など、通勤手当支給条件の改善に向けた対応を講じること。
- ④ 高額な生活関連手当の返納事例が継続していることから、発生しないよう監査態勢の充実や取扱手続きの簡素化等の対策を講じること。
- ⑤ 障がいを持つ人の働く環境の改善と、一層の雇用促進の考え方を明らかにすること。
- ⑥ 看護休暇の取得年齢および日数の拡大を行なうこと。
- ⑦ 社宅定年制を見直し、高齢

再雇用社員や月給制契約社員を入居対象とするなど、働き続ける環境整備に向け社宅入居条件の緩和をはかること。

⑧社員の福利厚生について一層の充実をはかること。

⑨人事異動の内命については、原則10日前を前倒し、お客様や事務の引継ぎ等に十分余裕を持たせること。

⑩正・非正規社員が自己都合退職後、再度、期間雇用社員として採用された場合、継続勤務とするよう条件を緩和し、年次有給休暇を引き継ぐこと。

〔郵便事業会社に関する課題〕

⑪車両保守における自主整備の拡大が行われたが、社員への負担が大ききこと等を踏まえ、実施状況を把握し検証を行うこと。

また、整備項目に、労働安全に大きく関わる項目もあることから、自主整備にかかる研修等の実施及び整備に要する時間の確保等、あらためて考え方を示すこと。

⑫実需に基づかない自社商品の購入はコンプライアンス違反であるが、フロントラインでは是正されていない現状にあることから、是正に向けた具体的な指導を行うこと。

⑬深夜業務従事者が健康診断を受診する場合、超過勤務手

当相当額が支給されているが、受診できない時間帯に勤務をしている期間雇用社員に対しても同様の措置を。

⑭期間雇用社員の処遇改善に向けて、小規模集配センターにおける通区数の基準等、他支店等と環境が相違する項目について、スキル評価基準を見直すこと。また、軽重に関わらず郵便事故1件で「習熟度なし」と変更され、大幅な賃金単価の引き下げの事例も見受けられることから、緩和をはかる等の見直しを行うこと。以上

日本郵政グループ労働組合
中央執行委員長 白杵博

日 刊 JP 新東京	No.951	2012年 8月28日(火)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

大会決定要求書提出！！

第5回定期支部大会 大会決定要求書

はじめに

私達JP労組新東京支部は、平成24年8月5日（日）第5回定期支部大会を開催し、各職場における問題点や課題に対する多くの意見・提言が出された。

執行委員会として、取りまとめ集約を行い、下記のとおり要求書を提出することとしたので、誠意ある回答を求める。

記

- 1 平成22年度から施行実施としている書留郵便物等集中処理の実施について、今後、本格実施の予定はあるのか。本格実施においては、業務運行確保対策・要員確保を含めて、丁寧な説明を求めると共に、今後の見解について明らかにされたい。
- 2 単年度黒字を必達するため、奪還営業に取り組んでいる中で、ゆうメールの増加傾向にあるが、それを考慮しつつ、第二普通郵便課における非正規社員の雇用計画の見直しを図られるとのことだが、非正規社員への丁寧な説明が不足、不満を感じている。改めて内容を整理のうえ、更なる丁寧な説明、取扱を求める。
- 3 休息室・ロッカー室において、空調稼働に問題があるため、改めて空調設備のメンテナンスを求める。
- 4 新規施策を含め、現行の業務量に見合った要員配置計画の見直しについては、現行、出勤してこない新規雇用者もいること、その後補充がされていないこと、勤務変更等を含め、実態を明らかにし、再度見直しを図ること。

- 5 組織改正等による各課のスキル評価においては、被評価者との作業に携わらない場合であっても評価者となっていることが見受けられる。
また、各職場の全ての分担に配置されていない状況で、スキル評価が下げられることがあることから、実態について明らかにさせると共に、適正な評価を行う体制を構築すること。
- 6 労働災害の観点から、鉄パレット（赤）の配備、運用、改善方法等について、明らかにさせること。
- 7 大口差出業者による、郵便の事前持込・料金収納においては、支店内スペースを圧迫するだけでなく、安全性も欠くことから、改善策を講じること。
- 8 パレット交換支店の一部廃止による支店内における取扱方法等については、運送便の遅延等など発生させることなく、各階層での処理内容を踏まえたうえで、内容を明らかにさせること。
- 9 翌朝10時郵便物の取扱・郵便棟2階における特殊課各作業場の見直し（レイアウト含む。）について、今後の運用等、現段階での内容について、明らかにさせること。
- 10 10深夜勤務開始以降における、各職場の業務実態に応じた休憩・休憩時間の見直し等を図ること。
- 11 郵便棟1階における搬送車両の走行ルールにおいては、職場実態（搬送車両の現状等）にそぐわない箇所が見受けられることから、安全性を考慮しつつ再度見直しを図ること。

以上

※ 支部執行部はこの11項目を要求書として支店に求め、交渉を行っていくこととします。

また、この他の意見・要望も執行部までお願いいたします。

日 刊	JP新東京	No. 952	2012年8月29日 (木)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784 内線 4353	

《投稿》

ベルマークを東日本大震災で被災した学校のために寄贈しました！

お久しぶりです。昨年9月に「ベルマークを、東日本大震災で被災した地域の学校の援助のために集めませんか？」と投稿した【猫舌】です。筆者の子の小学校で『昨年度（平成23年度）に集めたベルマークは被災地に寄付する』という事で、日刊紙に投稿させてもらったのですが、今年度は、小学校では例年通り、自分の学校の設備の充実のために集めるというので「まだ現地は復興に遠い現状で寄付をやめるのはもったいない」と思っていました。

ところが、ベルマーク財団のWEBサイトをみると、

「個人（会社）単位での震災復興支援のベルマーク寄贈をお願いします」

と復興支援を継続する内容が書かれていましたので、知人に声をかけ、4～6月に集めたベルマーク総計171.4点（1点1円になります）、財団宛に寄贈したところ、裏面に掲載してあるお礼状が届きました。

一口に「復興支援」といっても、筆者は現地にボランティアに行けない病弱な身（え？）なので、毎月こつこつ少

額を募金していますが、ベルマーク財団のように「被災した学校の復興」と明確な復興支援も良いと感じています。

という訳で、今後もベルマークを集めて定期的に寄贈する予定です。もし賛同してくれる方があれば、ご協力お願いいたします m(- -)m。 【猫舌】

お 礼

拝啓

日頃からベルマーク運動にご理解、ご協力を賜り、まことにありがとうございます。

おかげさまでベルマーク運動の歴史も50年を超え、28000を超える保育園、幼稚園、小中学校、高校、大学、公民館等が地道に活動を続け、年間約5億点分のマークが集まっています。この成果として、それぞれの教育設備の充実、そしてへき地学校や特別支援や災害被災地への援助を行って参りました。

さて、この度の東日本大震災にあたり、一般の皆様には震災復興支援のベルマークの寄贈を呼びかけしましたところ、ご協力いただきまして、厚くお礼申し上げます。

お寄せいただいたマークは、ボランティア団体等をお願いして、仕分け、集計し、岩手県、宮城県、福島県を中心とする地域の被災したベルマーク運動参加校のベルマーク預金にさせていただいたうえで、その学校が自分たちの必要な設備品を購入できるように致します。

また寄贈していただいた皆様につきましては、原則として、ベルマーク新聞(年間4回、1月、4月、7月、10月の発行)及びベルマーク財団のホームページでもお名前を紹介させていただきます。

今後とも、ベルマーク運動のご支援をよろしくお願い致します。

敬具

2012年

公益財団法人 ベルマーク教育助成財団

日刊

ア新東京

No.953

2012年
8月30日(木)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

2特分会恒例夏レク ビアガーデン大盛況

8月18日、2特分会恒例の夏レクビアガーデンを日本橋三越屋上で開催しました。

今年の夏は、大変な猛暑続き、晴天続きで、陽が沈んでも都会はムンムンの熱帯夜となっていたため「ビアガーデンはまだか」の声も聞かれました。ビアガーデン開催前日、天気予

報はなぜか：雨。

今まで何度も夏のビアガーデンを開催してきましたが、雨天のため中止になったことは一度もありませんでした。しかし：だめか。

ところがどっこい、晴れ男、晴れ女がたくさんいたおかげで、昼までには雨が上がり、夕方には今までになく気持ちの良い風が吹い

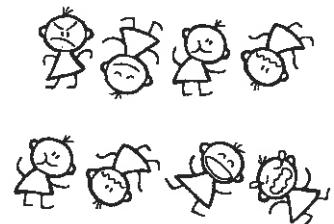
てきました。絶好のビアガーデン日よりとなりました。

勤務の都合で参

加したくても参加できなかった人もいましたが、40名近くの参加があり、分会幹事のSさんが司会進行をしてくれました。

高木分会長が「今日はありがとうございます。ケガもなく盛り上がっていきましよう」と開会宣言をしたのち荒牧執行委員から「今日はお疲れ様です。A・Bの交流も兼ねまして乾杯していきましよう」と乾杯のあいさつをうけビアガーデンレクスタート。グビグビと生ビールを流し込みました。

焼きそばや唐揚げ、春巻きにオニオンフライ、ポテトフライ、ホタテフライ、枝豆、漬け物、おで



ん、手羽先、し

ゆうまいなど食
べものは充実し
ていました。

ビルの谷間を
流れてくる風は
とても気持ちよく、

天井のない開放的な場所のため、
どんなに大きな声を出しても周り
の迷惑にはなりません。



大いに盛り上がってきたところ
で月給制社員に登用となったKさ
ん、正社員登用となり1特へ異動
となったAさん、2特Bから2特
Aへ異動となったTさん、そして
Sさん、Tさんから一言いただき
ました。分会書記長の岩崎さんか
ら「今日はどうもくみんなに負け
ないように頑張ります」とあいさ
つをいただきました。

この夏レクには2特OB元分会
長や、他の課に異動となったひと

も顔を見せてくれました。

職場ではなかなか話すことが出
来ませんが、懐かしい思い出話や、
要員補充されないままに職場が大
変なんだ、年金はどうなるんだ、
あいつとあいつはどうなったんだ
…など三越屋上では話題はつき
ず、組合員どうしのとても良い交
流の場となったに違いありません。

あつという間に閉店の時間とな
りました。

最後は下山支部長から「10月
1日から2つの会社が合併しま
す。郵政はいまだに政治に翻弄さ
れています。みんなの力でこの難
局をのり越えましょう」とがっち
りと締めてもらいました。

レクを開催するにあたって多く
のカンパをいただきました。あり
がとうございます。この場を借り
て御礼申し上げます。

医療共済マイガードに入ろう 加入随時募集中

割安な掛金の医療共済です。補償額が入院1日、3千円、5千円、1万円から選べます。医療に関する保険に加入していない人はまず入っていた方がよい共済です。入院、手術や骨折、1日入院なども対象となります。病気が発見されてからでは加入できませんので、検査を受ける前に加入しておきましょう。深夜勤での疲労の蓄積は思わぬ病気を引き起こします。ぜひとも検討を…。
詳しくは組合役員まで…

日 刊

新東京

No.954

2012年
8月31日(金)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

夏真っ盛り！一輪送分会恒例

納涼ビアパーティー開催！

暑い夏もみんなでのりきろう…

8月25日(土) 銀座松坂
屋屋上『麦羊亭』で一輪送分会恒例となるビアガーデンレクを開催しました。今ホールは、今夏で最後の営業となる老舗の店舗ということもあり、行列ができていることに驚きました。この暑い時季に屋外で語らうことに難色を示す方もいらつしやるでしょうが、不思議なことに日中の暑さは打って変わり、心地よい風

が吹いて快適に過ごせました。

はじめに分会長より、毎年恒例の夏レクを、今夏も開催できたことへの感謝の意と、今回、日程決定に至るプロセスや声かけが不十分だったことへの反省、そして、今後も多く組合員が参加できるように「集いの場」を開催していく決意を含めて、『かんぱうい』が発声され、全員のジョッキが交わされま

した。肉厚、絶品のラム肉を頼張りながら、ビール接ぎ50年のプロの作った『生』をぐびっと飲む。それも、東京の真ん中、空に近い場所とあって、身も心も本当にリフレッシュできました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ宴も終盤、ポストライフから参加して頂いた村崎さんより『共済の仕事は助け合いの制度、給付漏れのないようしっかりとしたものになります。時効案件も最大限給付できるよう取り組みますので、みなさんもアンテナは高く日々の組合活動・お仕事に頑張ってください』と頼もしい挨拶を頂きました。

最後に、恒例、副分会長より、集まって頂いた事への感謝と、久々に会えたことへの



感激、そして、これからも継続した行動としていくことへの決意をこめて閉めの挨拶がなされ会は閉じられました。

一輸送分会は、現場と計画があり、更に到着・差立も昨年一緒になったばかりで、普段は話す機会がない組合員も多くいます。また、勤務もバラバラでなかなか集う場所が持てない職場であります。こういつた機会に、聴き語り姿を見て、更に頑張っていたかなくてはならないと感じました。



翌日の勤務の都合で、途中で帰られた方もいらっしゃいました。後日、メールで参加してほんとによかったとの感想を頂き、幹事冥利に尽きます。今後も、楽しいレクを企画・開催していきます。

いよいよ決戦！！

新東京支部野球サークル

『 新 東 京 』

第一試合；9月1日(土)

10：50～(第2柴又野球場)

この試合に勝利すれば

第二試合；同日14：30～

ユニフォームも揃え全員がやる気いっぱいの『新東京』！！

ぜひ、応援に来てください。

